

観光とまちづくりが創り出す エンターテインメントの未来像

日 時

令和4年11月8日(火) 14:00~15:30

会 場

ロイトン札幌 2階 エンプレスホール (札幌市中央区北1条西11丁目)

2020年のパンデミック以降、エンターテインメントの構造がデジタル化によって大きく変化しています。リアルとオンラインの融合により、これまでにないサービス展開や世界全域がビジネスの領域へと変貌を遂げています。

ここ札幌・北海道では、観光やまちづくりの視座からの大通公園やすすきの、札幌ドームなど、エンターテインメントが及ぼす影響と高い発展性を秘めています。

今回、メディア・エンタメ産業において、東京ドーム取締役米国法人社長として日本初のNFL、NBAの興行やマイケル・ジャクソンなどの招聘を実現した伝説のプロモーターとして活躍された北谷 賢司氏をお招きし、「今の世界のエンターテインメントの潮流」や「札幌・北海道におけるエンターテインメントの未来展望」についてご講演頂きます。

参加料

1,000円(税込) ※当日受付にて申し受けます。

定 員

100名

講演者

北谷 賢司 氏

金沢工業大学虎ノ門大学院教授・ワシントン州立大学財団理事
KITコンテンツ&テクノロジー融合研究所所長

【講 師 略 歴】



ウイスコンシン大学大学院にて通信法、メディア経営を専攻し、1981年に博士号を取得。ワシントン州立大学助教授に就任、放送報道、制作、経営を担当後、インディアナ大学に招聘され、学務と並行し、日本テレビ、TBSで国際事業顧問を務め、TBSメディア総研取締役、TBS米国法人上席副社長、東京ドーム取締役兼米国法人社長、ソニー本社執行役員兼米国ソニーEVPを経て、33年間滞在した米国から2004年に帰国。ソニー特別顧問、ぴあ社外取締役、ローソン顧問、エイベックス国際ホールディングス社長を歴任。米AEGのEVPとして愛知国際アリーナ、大阪万博公園アリーナの開発権を取得した。現在、インターFM897取締役、ブロードメディア監査役、FM東京顧問、三菱商事都市開発特別顧問も務める。

主な著書に「エンターテインメント・ビジネスの未来2020-2029」、「同ポストパンデミック編」、「人を動かす力、お金を動かす力」、「エンタメの未来2031」など。道内関係では、TBS顧問時代にHBC報道番組、東京ドーム時代に札幌後楽園ホテル経営、エイベックス時代には日ハムファイターガールズ事業などに関与、札幌ドームのMLBファンイベントの招聘、海外啓蒙にも貢献。

申込締切

令和4年11月4日(金) までにお申込み下さい。

＜お問合せ先＞札幌商工会議所 産業部 生産性向上推進室 TEL: 011-231-1077

FAX送信先: 011-222-5215

講演会参加申込書

会社名			
TEL		E-mail	
所属部署・役職		氏名	
所属部署・役職		氏名	

※お申込み頂いた個人情報は、本講演会の運営及び今後の主催者からの情報提供等に使用致します。